

鳥取県の古代寺院

番号	国名	時期	遺跡名	遺跡の所在地	推定様式	資料の保管	参考資料
1	因幡国	白鳳	岩井廃寺跡	岩美郡岩美町岩井	法起寺式	岩美町教育委員会	
2		白鳳	栃本廃寺跡	岩美郡国府町栃本	(栃本廃寺式)	国府町教育委員会	
3		白鳳	岡益廃寺跡	岩美郡国府町岡益	法起寺式	鳥取県立博物館 長通寺 鳥取県埋蔵文化財センター	
4		白鳳	等ヶ坪廃寺跡	岩美郡国府町玉鉾		鳥取県立博物館 国府町教育委員会	
5		奈良	因幡国分寺跡	岩美郡国府町国分寺		鳥取県立博物館 国府町教育委員会	
6		奈良	因幡国分尼寺跡	岩美郡国府町法花寺		鳥取県立博物館 国府町教育委員会	
7		白鳳	菖蒲廃寺跡	鳥取市菖蒲		鳥取市教育委員会	
8		白鳳	吉岡大海廃寺跡	鳥取市吉岡温泉町		鳥取市教育委員会	
9		白鳳	土師百井廃寺跡	八頭郡郡家町土師百井	法起寺式	郡家町教育委員会	
10		白鳳	寺内廃寺跡	気高郡鹿野町寺内		鹿野町教育委員会	
11		白鳳	野方・弥陀ヶ平廃寺跡	東伯郡東郷町野方		東郷町教育委員会	・
12	伯耆国	白鳳	大原廃寺跡	倉吉市大原	法起寺式の変形	倉吉市教育委員会 倉吉博物館	
13		白鳳	大御堂廃寺跡	倉吉市駄経寺町	観世音寺式	倉吉市教育委員会 倉吉博物館	
14		奈良	伯耆国分寺跡	倉吉市国分寺		倉吉博物館	・
15		奈良	法華寺畑遺跡 (伯耆国分尼寺跡)	倉吉市国府		倉吉博物館	・
16		奈良	石塚廃寺跡	倉吉市石塚	四天王寺式	倉吉博物館	・
17		奈良	藤井谷廃寺跡	倉吉市志津 東伯郡関金町藤井谷		関金町教育委員会	・
18		白鳳	斎尾廃寺跡	東伯郡東伯町槻下	法隆寺式	鳥取県立博物館 東伯町教育委員会	・
19		奈良	高田原遺跡	西伯郡名和町高田原		名和町教育委員会	
20		白鳳	上淀廃寺跡	西伯郡淀江町福岡	(上淀廃寺式)	淀江町教育委員会 佐々木古代文化研究室	
21		白鳳	大寺廃寺跡	西伯郡岸本町大殿	法起寺式	鳥取県立博物館 岸本町教育委員会	・ ²¹
22		奈良	坂中廃寺跡	西伯郡岸本町坂長		岸本町教育委員会	²²

- 1 時期について：発掘調査で明らかにされたり、出土している瓦等から推定される、お寺の建てられた年代を示しています。
 2 推定様式について：発掘調査で明らかになったり、推定される主要な建物の配置を示しています。
 3 参考資料について：そのお寺や、出土した瓦等について書いてある主な文献を示しています。

参考資料

1	『岩井廃寺跡発掘調査報告書』 岩美町教育委員会 1986年	12	『史跡大原廃寺発掘調査報告書』 倉吉市教育委員会 1998年
2	『史跡栃本廃寺塔跡発掘調査報告書』 国府町教育委員会 2000年	13	『史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書』 倉吉市教育委員会 2001年
3	『岡益廃寺』 鳥取県埋蔵文化財センター 2000年	14	『新編 倉吉市史』第1巻 倉吉市 1996年
4	『玉鉾等ヶ坪廃寺跡発掘調査報告書』 国府町教育委員会 1991年	15	『伯耆国分寺』 倉吉博物館 1983年
5	『因幡国府遺跡発掘調査報告書』 ~ 鳥取県教育委員会 1973~1980年	16	『法華寺畑遺跡環境整備事業報告書』 倉吉市教育委員会 2001年
6	『菖蒲廃寺発掘調査概報』 鳥取県教育委員会 1968年	17	『東伯町誌』 東伯町 1968年
7	『面影山古墳群・吉岡遺跡発掘調査概要報告書』 鳥取市教育委員会 1987年	18	『名和町誌』 名和町 1978年
8	『土師百井廃寺跡発掘調査報告書』 ・ 郡家町教育委員会 1979・1980年	19	『上淀廃寺』 淀江教育委員会 1995年
9	『寺内廃寺発掘調査概報』 ~ 鹿野町教育委員会・関西大学考古学研究室 1979~1982年	20	『大寺廃寺発掘調査略報』 鳥取県教育委員会 1966年
10	『東郷町誌』 東郷町 1987年	21	『大寺廃寺跡発掘調査報告書』第1次~第5次 鳥取県教育委員会/岸本町教育委員会 1967年~1986年
11	『奈良時代の伯耆国に見られる軒瓦の様相』『考古学雑誌』66-2 真田廣幸 1980年	22	『大寺廃寺第四次発掘調査報告書』 岸本町教育委員会 1977年

鳥取県の古代寺院



上淀廃寺から見つかった彩色壁画（神将）

6世紀の中ごろ、朝鮮半島南西部にあった百済という国から、日本に仏教が伝わってきました。そして、大和（現在の奈良県）に日本最初のお寺である「飛鳥寺」が建てられます。さらに、仏教に対して信仰の厚かった聖徳太子が「法隆寺」を建てるなど、大和を中心に皇族や豪族がこぞってお寺を建て、仏教色の強い「飛鳥文化」が花開きました。

7世紀後半の「白鳳時代」になると、地方の豪族も自分たちの氏寺として、お寺を建てるようになります。県内にはこれまで22カ所の古代のお寺の跡が知られていますが、初めてお寺が建てられたのはこの時代になってからです。また、8世紀中ごろには仏教によって国家の安泰を守るため、それぞれの国に国分寺・国分尼寺が建てられました。県内では、因幡国・伯耆国それぞれ、国分寺・国分尼寺の跡が知られています。

屋根に瓦を葺き、高い塔を持つ荘厳な建物を築いた人々、そしてそれを見上げる周りの人々は、立派なお寺に何を願ったのでしょうか。

鳥取県埋蔵文化財センター

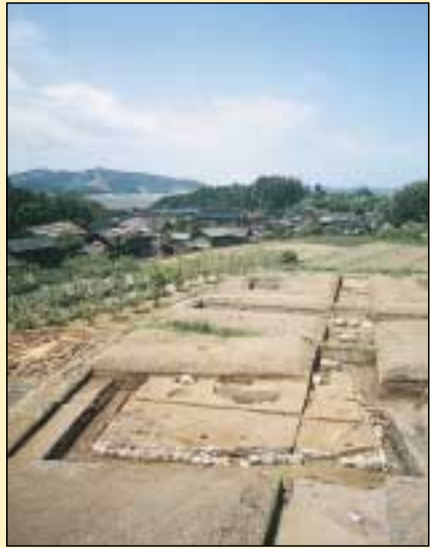
鳥取県岩美郡国府町宮下1260

電話（代表）0857-27-6711

F A X 0857-27-6712

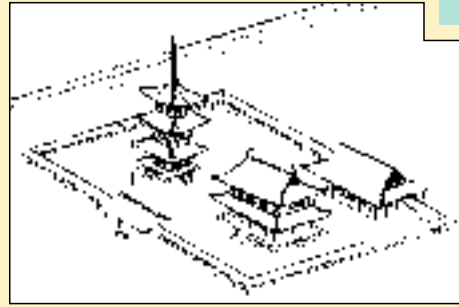
ホームページ <http://www.pref.tottori.jp/maibun/>

鳥取県の古代寺院の様子



20 発掘された上淀廃寺跡

表紙の写真のような彩色仏教壁画が見つかり大きな話題となりました。三つの塔(一つは計画だけ)を一直線に並べる、他に例を見ない建物の配置をとっています。また、出土した瓦の中に「癸未年」という年号の刻まれたものがあったことから、西暦683年にはお寺が建っていたことがわかりました。



18 さいのお 斎尾廃寺復元想像図

このお寺の範囲は東西160m以上、南北200m以上にもなることが知られていて、主要な建物が建っていた跡が今でもよく残っています。現在、国の特別史跡に指定されています。



14 伯耆国分寺復元想像図

文献によって、その様子を知ることができる寺跡のひとつです。文献によると、西暦756年には完成していて、西暦948年には火事により焼失したようです。現在、国史跡に指定されています。



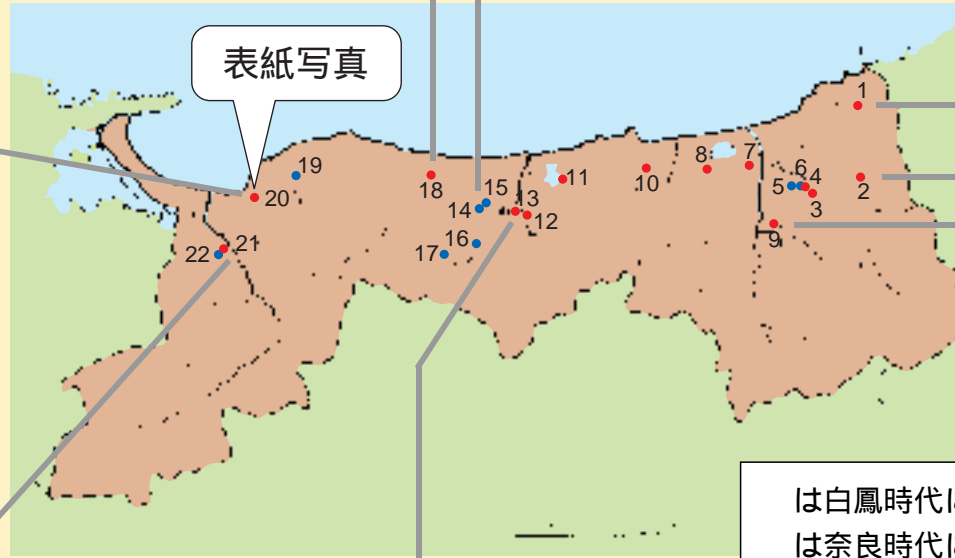
1 岩井廃寺の塔心礎

岩井廃寺に建っていた「塔」の心柱を支える礎石です。地元の人びとは「鬼の碗」と呼んでいるそうです。現在、国史跡に指定されています。



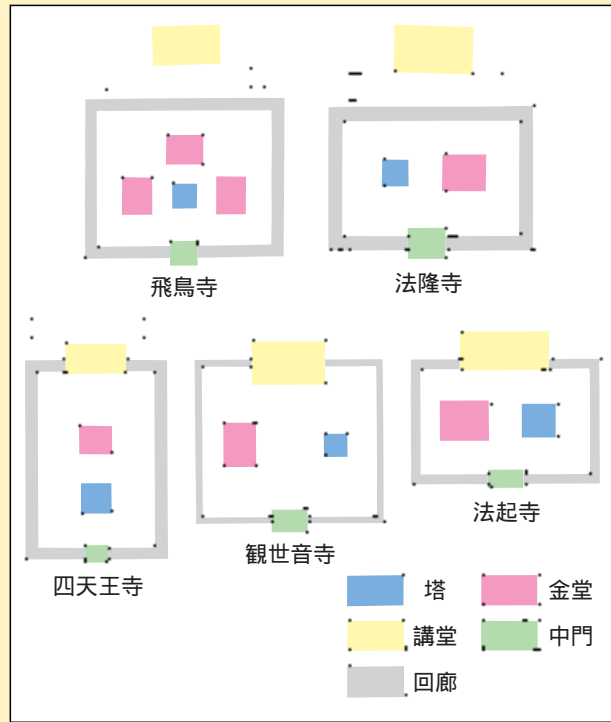
2 とちもと 朽本廃寺の建物跡

塔の心礎が2個あることは知られていましたが、発掘調査で、石を積み上げた建物の基礎部分が残っていることも明らかになりました。建物の配置は、金堂の東と南に塔をもつ、他に例を見ないものです。また、瓦を屋根にふいていない寺としても知られています。現在、国史跡に指定されています。



表紙写真

は白鳳時代に建てられたお寺
は奈良時代に建てられたお寺



古代寺院の主要な建物の配置図

塔...釈迦の骨(仏舎利)をまつる建物。
金堂...寺院の本尊の仏像を安置する建物。
講堂...僧が仏教や経典を学ぶ建物。



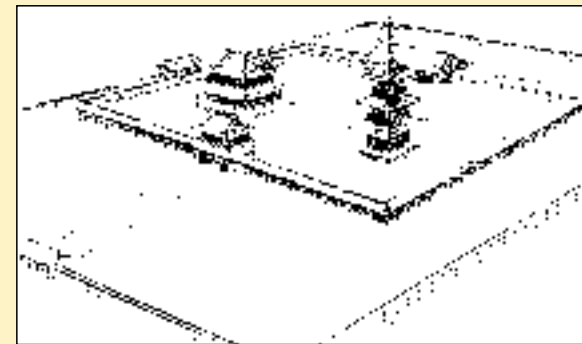
21 大寺廃寺石製鴟尾

金堂という建物の屋根に据えられていたと考えられる、石で作られた鴟尾です。焼き物の鴟尾は多く見られますが、石で作られたものは、全国で2つしかない、とてもめずらしいものです。この鴟尾は、国の重要文化財に指定されています。(福樹寺所蔵)



13 おおみどう 大御堂廃寺出土瓦

大御堂廃寺の屋根を飾った瓦です。上の瓦は「軒丸瓦」、中の瓦は「軒平瓦」といって、屋根の先端の部分に使われました。鬼の顔をしている下の瓦は「鬼瓦」といって、屋根の棟の両端や隅の部分に飾られ、悪霊をにらみつけています。(倉吉博物館保管)



9 はしもい 土師百井廃寺復元想像図

塔の柱を支えていた礎石が完全に残っている寺跡で、その大きさなどから、三重塔が建っていたことが推定されます。お寺の広さは10,000m²にもなるようです。現在、国史跡に指定されています。

年代	時代	主なできごと
0	弥生	卑弥呼が邪馬台国の王となる。
400	古墳	大和朝廷の国土統一が進む。各地に古墳が造られる。
500		仏教が伝わる。
600	飛鳥	飛鳥文化がさかえる。法隆寺が建てられる。
700		白鳳
800	奈良	奈良に都が置かれる。全国に国分寺が建てられる。
900	平安	京都に都が置かれる。